

水稲

プレミアム88(高品質米)を目指すために適期中干しを実施しましょう!!

■中干しの効果

高品質米生産のためには、適正な籾数に制限することが重要です。そのため、過剰な分けつを抑制するために、田植後1カ月ぐらいをめどに適期中干しを実施しましょう。

中干しは、風通しを良くし、光が株元に届きやすくし、土壌に酸素を供給することで、根を活性化させます。

■中干しの程度

中干しの程度
注意 軽く足跡がつく程度



半湿田では足がしずむ程度
4~5日間隔



乾田では弱いヒビが入っている
2~3日間隔



■中干し時期の茎数 (ロシヒカリの目安)

1株当たりの茎数	栽植密度 (ノ坪)
20本	50株
17本	60株
14本	70株

■溝切り

◎溝切りを行うことで、入水・落水が容易になり、胴割米の防止と粒厚の向上につながります

◎確実な溝切りにより、地耐力が増し落水時期を遅らせることができるので、今後のカドミウムの吸収抑制・滲水管理技術に効果があります。

◎中干し以降から幼穂形成期までは、常時湛水せず、土の表面が見えたら水を入れ、これを繰り返します。排水口の板は必ず閉めて、水深3cm程度となれば、必ず水を止めます。



5m~10m間隔で溝切りを!!

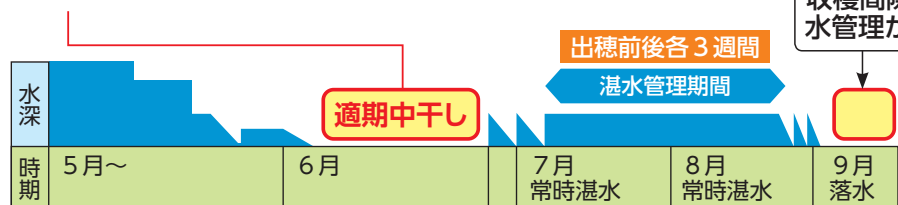
水稲カドミウムリスク対策情報「湛水管理」に向け、適期作業を

出穂前後各3週間の時期になると湛水管理作業が始まります。

湛水管理は、**玄米中カドミウムの吸収を抑制するための重要な技術です。**今後、水管理・湛水管理がスムーズ(効率的な水利用)となるよう、作業の実施をお願いします。

① 適期中干し・溝切り

★中干し作業は、地耐力を向上させる唯一の手段です!



収穫間際まで水管理が可能

② 畦畔等の水漏れ再確認 漏水防止

★作付後に、田んぼの漏水状況を見回り効率的な水管理・湛水管理が実施できるよう事前に点検しましょう。



- 排水口の止水板管理
- 畦からの漏水(ネズミ・モグラ穴からの漏水)
- 低くなった畦からのオーバーフロー
- 構造物・暗渠排水管まわりからの漏水

野菜



インゲン豆の直播栽培

■栽培特性

1. マメ類の中でも高温好み、生育適温は20℃～25℃くらいです。
2. 生育期間が短く、他の野菜との間作として十分利用できる野菜です。
3. 土壌水分に比較的敏感に反応するので、排水と過乾燥に注意してください。

1 品種

つる有り種とつる無し種に分かれます。つる有り種は収穫期間が比較

的に長くて多収ですが、支柱が必要になります。

つる無し種は短期間に収穫でき、狭い場所でも栽培できます。

2 ほ場準備

種まきの2週間前に、ふりかけ堆肥工口300g/m、苦土消石灰120g/m、BMよりりん40g/mを全層施用し荒起します。基肥として播種5日前に野菜有機S282を100g/m施用し整地して準備します。

3 種まき

6月初旬から7月中旬まで畑に直まきできます。株間30cmで1か所3粒まきとし、覆土は約3cmとします。

3cm 手の
1か所に3粒種をまきの厚さに土をかぶせ、ひらで軽くおさえる。



本葉2～3枚の

ときに間引きし2

本にします。根は

加湿に弱いので排

水対策として畦は

やや高めにします。



4 管理・収穫

つる有り種については、下から3枚目までの葉の付け根から出るわき芽は取り除き、親づるを支柱に誘引していきます。支柱には50cmおきに横にもひもを張り、側枝がからみやすいようにします。

200cm



つる有り種

つる無し種より子実のふくらみが大きくなっても食味は落ちにくいので、収穫適期の幅はやや広い。

つる無し種

開花後10～15日で子実のふくらみがさやにあらわれてきたころ収穫する。



⚠️ PCB (ポリ塩化ビフェニル) を含む廃棄物の適正処理について

【安定器等・汚染物の処理に関する割引制度が実施されます】

このたび、PCB 廃棄物のうち、JESCO 北九州での処理対象となっている安定器等・汚染物について、処分費用の3%が割り引かれる制度(特別登録)が実施されます。

この割引制度の利用には、平成29年7月～12月の半年間にJESCOへ登録を行うことが必要です。この機会に、事業所内の照明器具や倉庫などを点検し、PCBを含む機器がないか、再度ご確認ください。

※割引制度の登録期間は、自治体により異なります。滋賀県以外で保管されている安定器等・汚染物の登録期間については、保管場所を管轄する自治体へお問い合わせください。

お問い合わせ先／滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL: 077-528-3474